

** 新型コロナウイルス感染症と風水害からの避難について **

万一、昨年のような台風の襲来を受け、金田小学校に避難者が集中した場合、新型コロナウイルスの感染を防止する手立てを、優先的に講ずる必要があります。

★ 緊急の場合の避難について内閣府は、『避難 即「避難場所」ではなく、平時に、安全な場所にある親戚、知人宅や自宅の2階などへの避難を検討する』よう勧めています。

避難所に集中し「3つの密（密集、密接、密閉）」状態を防がねばなりません。

★ 平塚市の対応は、『・・・避難とは「難」を「避」けることであり、・・・身の安全を確保できる場所へ移動することを意味し、必ずしも小・中学校などの避難所へ移動を促すものではありません。事前にハザードマップなどにより、自宅の災害リスクをご確認いただき、自宅の2階以上への避難や、親戚や知人の家等に避難することもご検討ください』とあります。

● 金田小学校指定緊急避難場所での具体的な対応（運営マニュアルより）

- ・ ハザードマップには、小学校の想定される最大浸水深が1.8mと記され、運営マニュアルには、「浸水被害が発生しやすい所となっている」と指摘されています。
- ・ 出入り口は、原則、北東門（体育館前）のみとし、駐車スペースは体育館前とします。
- ・ 避難スペースは原則体育館のみとし、浸水によりやむを得ない場合には、外回りで体育館から正面玄関へ移動し、3階の図書室を利用します。
- ・ 避難スペースは、土足厳禁です。（上履き持参のこと）
- ・ 避難所の開設は、市から配備された金田小学校担当の職員が当たり、避難者を受け入れます。
- ・ 体育館入場時、受付で避難者カードをもらい、別置の台で記入します。
- ・ 館内には、傷病者と要配慮者のスペース、一般向けには、感染防止のため世帯割の区分（3m四方）を設け、通路を考慮すると、収容人数は30世帯程度とされています。
- ・ ペットと同行避難の場合には、原則ケージに入った場合のみ受け入れます。ペット受け入れ票に記入し、原則、体育館北側をスペースとします。狂犬病予防の鑑札確認をします。
- ・ 避難場所閉鎖前に帰宅する場合は、受付をしてからとします。

● 避難用品（体育館の3密・新型コロナウイルスへの対策）・・・各自が用意します。

マスク、体温計、消毒液、飲み水、食料、上履き、毛布（代用の夏掛け、タオルケット）、ビニール袋複数枚（大き目）、個人的に必要な物

<避難は、台風などが行過ぎるまでの間、一時的な避難であることを考慮します>

★ 寺田縄自治会・防災会の対応

平塚市からの「避難準備・高齢者等避難開始」の発令があった場合、ホットラインにより組長さんを通して自治会員へ伝達、また、要支援の届を出した人達には、プロモートから避難の方法など、安否の確認の電話を致します。（夜間の避難は危険です。午前6時～午後6時の間とします）

（寺田縄自治会長 久光陽一、防災会代表 片山興大）